

# 家畜の生産性向上にかかる暑熱対策

気象庁が6月29日に発表した3か月予報では、丹後地域(近畿地方日本海側)で気温は例年より高い見込み、降水量は平年並みか多い見込みとのこと。

また、気圧の配置や偏西風の影響で南から暖かく湿った空気が流れ込みやすく、前線や湿った空気の影響を受けやすいとのこと。

## 月別平均気温と降水量(京都府)

	7月	8月	9月
平均気温	平年並か高い	高い	平年並か高い
降水量	平年並か多い	ほぼ平年並	ほぼ平年並

- ◆高温、多湿に加え、丹後地域を含む日本海側ではフェーン現象の影響を受ける可能性があります。
- ◆線状降水帯や台風に伴う集中豪雨により、浸水、土砂災害、後の伝染性疾病の発生も想定されます。
- ◆何れかの被害が出た際には家畜保健衛生所へ直ちにご連絡ください。また、急なお問い合わせ等行う場合もありますので、その際はご協力お願いします。
- ◆具体的な暑熱対策は裏面を参考としてください。

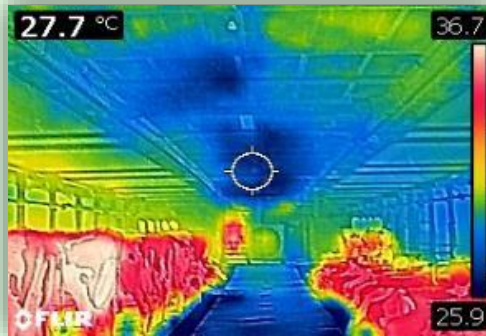
# ＜家畜の生産性向上にかかる暑熱対策＞

## 畜舎・鶏舎内の温度上昇等への対応

- 直射日光の遮断、夜間外気の取込
- 西日の遮光
- 屋根、畜舎、吸気口への散水、噴霧
- 家畜への送風、散水
- ビニールカーテン吊り下げ
- 毛刈り（牛）
- 屋根、壁、床への断熱材、断熱塗装
- 換気扇、送風ダクトによる強制換気



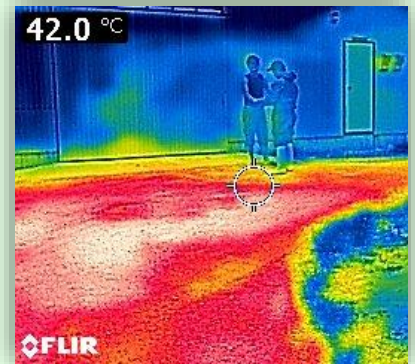
畜舎屋根へ石灰塗布することで直射日光の影響が緩和されます



畜舎内の送風と散水を有効に活用すると5度程度温度が下がります

## 畜舎・鶏舎周りの温度上昇の抑制

- 日陰の整備
- 寒冷紗の設置
- 散水



畜舎周辺の地面の高温化は散水で緩和されます

## 家畜のコンディションの維持

- 十分な飲水の確保、飼料の変敗防止
- 適正な飼養密度の確保
- 飼料は涼しい時間帯に給与、給与回数を増やす
- 品質の高い粗飼料の給与、ミネラル等の補給（牛）
- ガーリック、ビタミンA、D、Eの利用（豚）
- 重曹、塩化カリウム、ビタミンCの投与（鶏）

（農林水産省資料参考）